

お客様各位

株式会社日立ソリューションズ
Palo Alto Networks 製品ユーザーサポート

WildFire API 無償利用可能数変更のお知らせ

平素は Palo Alto Networks 製品ユーザーサポートをご利用くださり誠にありがとうございます。無償利用可能な WildFire API 数の上限値の変更について Palo Alto Networks 社からアナウンスがあり、この度、詳細を確認できましたので、以下の通りご連絡いたします。

1. 概要

無償利用可能な WildFire API 数の上限値が以下の通り、変更されました。

2021年11月3日以前：1日あたり1,000ファイル送信、10,000クエリ

2021年11月3日以降：1日あたり150ファイル送信、1,050クエリ

※PAシリーズから自動転送される分はカウントの対象外です。

2. 対象のお客様

無償利用の範囲内で WildFire API を利用しているお客様が対象となります。WildFire サブスクリプションをご購入いただいているお客様は、有効期限までは利用可能な WildFire API 数に変更はありません。ライセンス更新時に新しい上限値が適用されます。

3. 影響

上限値を超えた場合は即時利用不可となり、上限値を超えたことを示すレスポンスコード (419 Max Request Reached) が返されます。なお、毎日 23:59:00 UTC (08:59:00 JST) に利用可能な WildFire API 数のカウントがリセットされます。

4. 利用可能な WildFire API 数の確認方法

利用可能な WildFire API 数は以下の手順で確認してください。

- (1) WildFire ポータル(<https://wildfire.paloaltonetworks.com/>)へログインします。※
- (2) メニューバーにて Account を選択します。
- (3) MY WLIDFIRE API KEYS にて当該 API key の以下の値を確認してください。
 - ・ Daily Uploads Remaining : 利用可能な残りのファイル送信数
 - ・ Daily Query Remaining : 利用可能な残りのクエリ数

※ログインするには **CSP** アカウントが必要となります。**CSP** アカウントをお持ちでない場合、**CSP** アカウントの作成を弊社サポートまでご依頼ください。詳細については、弊社サポートサイトの「サービス > PaloAlto 社ログインアカウント」をご確認ください。

5. 対応策

無償利用可能な **WildFire** API 数の上限値を超えて **WildFire** API をご利用する場合、追加利用可能となる **SKU** がリリースされておりますのでご購入を検討ください。なお、購入に関しては弊社営業にお問い合わせください。

以上